

東 秀夫

(明政一心会)

市長公約について

質問 市長の公約である農業政策を平成二十二年

答弁 市財政を取り巻く環境は依然として非常に

このたび新政権下による事業仕分けを踏まえた新年度

状況をよく見きわめ、国、県の事業を効果的に活用

用いたい。

県境決定による地方交付税について

質問 県境決定により増額となる地方交付税の、平成二十二年以降の取り組

答弁 平成二十二年度事業については、地域住民で組織する十和田湖畔地区

ながら事業の選定を行っており、その協議会には青森県、秋田県、十和田市、小坂町もオブザーバーとして参加しながら、実質五者で協議している。

また、四者の事務レベル会議でも、実施予定事業を提案しながら共同実施や単独実施など、いろいろな観点から事業調整等を行い、連携に努めていきたい。

旧十和田湖町地区の簡易水道について

質問 旧十和田湖町地区簡易水道施設の整備計画をお知らせください。

答弁 合併時に旧町から引き継いだ簡易水道施設は十一地区あり、十和田湖畔三地区の簡易水道は今年度中に事業が完了し、平成二十二年四月から給水開始を予定している。

また、残り八地区については、現在沢田、上川目、段ノ台・川口、法量の四地区を国、県と協議の上、補助事業の活用を図り、平成二十二年から水道事業経営変更認可申請の事務手続を開始する。

野月一博

(高志会)

中心市街地活性化について

質問 市ではまちづくり十和田を支援しながら中心市街地の活性化を進めているが、政府の事業仕分けが、こうしたまちづくり事業へ影響することが懸念されており、活性化に対してういう見通しを持つているか伺いたい。

答弁 事業仕分けでは、まちづくり交付金が地方への移管、商店街、中心市街地活性化事業が二〇%程度の縮減及び平成二十三年以降は一括地方との協議との趣旨の判断がされている。

このことから、国の中心市街地活性化関連の予算や事業手法などに変更があると予想され、市の活性化事業にも影響が出てくると受け止めている。いずれにしても、市としては国の動向を注意深く見守りながら、関係省庁との連絡をなお一層密にし、今後の対応を検討していききたい。

「東奥賞」受賞について

質問 十和田市現代美術館が「東奥賞」を受賞したことについて市長はどのように思っているのか伺いたい。

答弁 昨年開館し、本年に東奥賞を受賞できたことを喜んでいいる。また、東奥賞の歴史の中で、市の施設が受賞となったことは初めての快挙であり、市民各位はもとより、これまで現代美術館の立ち上げに携わられた方を初め、関係者各位に感謝を申し上げたい。

来春には野外芸術文化ゾーンがグランドオープンするが、このたびの受賞はこれから歩んでいく美術館への大きな励ましであるものと力強く思っている。



第62回東奥賞贈呈式より

田中重光

(市民・共動クラブ)

これからの福祉行政

質問 消防避難訓練一斉調査で違反を指摘された介護施設が県内にもあったと聞くと、当市での避難訓練の実施状況について伺いたい。

また、介護保険施設の新設等に関する許認可制度の説明は、申請者に対して十分ではなかったか。

答弁 当市には老人保健施設四施設、特別養護老人ホーム三施設、グループホームが八カ所あり、消防法による年二回以上の避難訓練が実施され、年に一度は消防職員立ち会いのもと指導を受けている。

また、介護保険施設の申請を希望する事業者には、その都度県及び市の開設権限等の情報を提供しており、理解していただくよう努め

ている。申請を希望しない事業者への情報提供については、現在当市が日本一高い介護保険料であること、平成二十一年度から二十三年度までの第四期介護保険事業計画では新設や増床を見込んでいないことから、事業者からの求めに応じての情報提供を考えている。

AEDについて

質問 日本光電工業(AED)を修繕リコールしたと聞くと、当市で設置しているAEDメーカーではないか。

また、AEDが設置されていることを示す、野外等の看板、パネル設置の考えについて伺いたい。

答弁 当市に設置しているAEDの五十四台中十八台が日本光電工業(株)の製品となっている。五月には交換できることと、その前に点検のためのセットを配布するということが、現時点ではどの機器も機能を果たしており、不具合は生じていない。

また、AEDが設置されている表示については検討していき、マップについては作成を予定している。